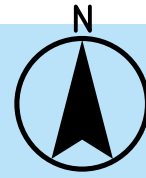


宮古諸島





道路凡例

- 331 国道
- 82 県道主要地方道
- 39 県道一般道
- 高速道路
- 市町村境界線

国指定重要文化財(平5.4.20)

とらゆ み や ばか

豊見親墓

仲宗根豊見親の墓
知利真良豊見親の墓
あとんま墓



階段みたいな形をした墓だね。こんな造りの墓は初めて見た。



仲宗根豊見親は、16世紀前半の宮古を統治していた人物だよ。張水海岸を見下ろす高台に建てられていて、現在でも仲宗根豊見親の子孫が守っているんだ。

宮古島市



宮古の英雄「仲宗根豊見親玄雅」と、その子孫が眠る墓



あとんま墓(正面)



あとんま墓(入口)

豊見親墓は仲宗根豊見親墓、知利真良豊見親墓、あとんま墓の3つの墓で構成されています。

仲宗根豊見親墓は、15～16世紀にかけて宮古の首長を務めた忠導氏一門が祀られています。

知利真良豊見親墓は、仲宗根豊見親の三男を祖とする宮金氏一門を祀った墓で、その子孫の寛富が1750(乾隆15)年頃に造りました。

あとんま墓は、忠導氏一門の継室が祀られています。

これらの墓の特徴は墓の入口正面にヒンプン、墓室の上部に短い石柱が並んでいることです。石柱の先端にへこみがあり、祭祀の時にはそこへ桁木をのせて梁を架け、屋根で覆うことが出来ます。このような独特な構造の墓は県内の他の地域では見られない貴重なものです。





知利真良豊見親墓(正面)



知利真良豊見親墓



仲宗根豊見親墓

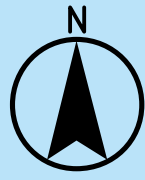


仲宗根豊見親墓(正面)



26°21'16.3"N 126°48'27.7"E

八重山諸島



新盛家住宅 (P91)

西表島

竹富町

船浦橋

波照間島



竹富町竹富島
重要伝統的建造物群
保存地区 (P94-95)



国指定重要文化財(昭47.5.15)

きゅう みや ら どうん ち
旧宮良殿内



外からは屋根しか見えな^いね。

首里下府から五回にわたって取り壊しの命令を受けたんだ。庭園は琉球石灰岩の大きな石を配した、琉球庭園を代表するものだよ。



石垣市



首里の上級士族の家にも負けない八重山頭職の住宅



本瓦葺きの門

旧宮良殿内は松茂姓八世宮良親雲上当演が八重山の頭職に任命された1819(嘉慶24)年に建てられました。琉球国時代の住宅建築は階級により規格が定められていました。そのため八重山の頭が琉球の御殿殿内のような立派な家屋敷を構えるのは違法とすることで、1874(同治13)年、御検使の富川親方に

よって瓦葺き屋根から茅葺きに改めさせられました。1879(明治12)年の廃藩置県後、改めて本瓦葺きとなりました。

屋敷周囲を石垣で囲み、正面中央に本瓦葺きの門を設け、正面にヒンプン、中門を設けています。主屋(ウフヤ)は敷地の中央部で東側に琉球石灰岩を主体にした庭園があります。



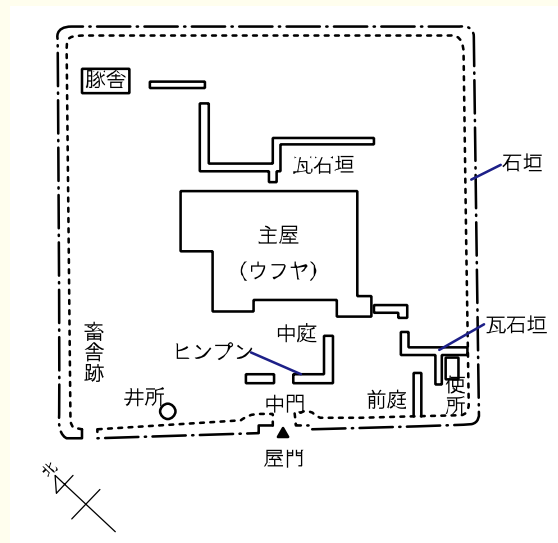


■ ヒンブンと主屋(ウフヤ)

■ 石垣と扉門(内部より)



■ 主屋(ウフヤ)



※観覧料:一般200円 高校生以下100円 24°21'47.7"N 124°09'53.6"E
休館日:火曜日